

生涯教育手続集

公益社団法人 日本視能訓練士協会

Japanese Association of Certified Orthoptists

<http://www.jaco.or.jp>

手続きに関する注意事項

1. 公益社団法人日本視能訓練士協会（以下協会）の生涯教育についてよく理解してください。
2. 指定事項を正しく記入してください。記入に不備があると認定・承認の遅れや、無効になることがあります。
3. 参加証明等の履修状況は、履修管理表（生涯教育手続集Ⅱ-5, V-5, VIII-7, IX-7, IX10）に記入し、保管してください。
4. 履修状況記録項目の用紙が不足した場合は、コピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。
5. 会員の資格等については、協会の定款に準じます。

日本視能訓練士協会倫理規定

視能訓練士は、眼科領域における医療の担い手として専門職の誇りをもち、社会的使命と職務の責任をつねに考え、豊かな人間性を磨くことを心がけ、ここに倫理規定を設ける。

1. 視能訓練士は、人々の保健・医療・福祉のために専門性の高い知識と技術をもってその社会的使命を遂行する。専門職として責任ある行為をすべきであり、その名称を辱める行為をしてはならない。
2. 視能訓練士は、人々の生活の質（Quality of Life）、視的生活の質（Quality of Visual Life）の向上のために、眼科一般検査・両眼視機能に障害のある人への訓練や治療の内容について十分に説明し指導する必要がある。
3. 視能訓練士は、生涯学習する専門職であることを自覚し、自己研鑽に励み科学性を探究する努力を惜しまず、最新の知識と技術を修得し提供する。業務上知り得た情報は探求し記録として保管する。また、後輩の育成と教育水準の高揚に努める。
4. 視能訓練士は、他の関連職種と協力してチーム医療の一員として貢献する。
5. 視能訓練士は、人権を尊重し、すべて平等に接する。
6. 視能訓練士は、豊かな人間性の涵養をはかり、心理的・社会的・精神的に充実し高めることに努める。
7. 視能訓練士は、職務上知り得た情報についての秘密を守らなければならない。
8. 視能訓練士は、不当な報酬をもとめない。

はじめに	p. 6
I. 生涯教育制度の登録	p. 6
II. 新人教育プログラム	p. 7-8
1. 履修条件	
2. 修了条件	
3. 修了申請	
4. 修了証授与	
5. 新人教育プログラム修了までの流れ	
III. 免許取得後6～10年目の者について	p. 9
IV. 新人教育プログラムの免除者について	p. 9
V. 基礎教育プログラム	p. 9-10
1. 履修条件	
2. 修了条件	
3. 修了申請	
4. 修了証授与	
5. 基礎教育プログラム修了までの流れ	
VI. 免許取得後15年目以上の者について	p. 11
VII. 専門教育プログラム	p. 11-12
1. 履修条件	
2. 修了条件	
3. 基礎教育プログラム修了までの流れ	
VIII. 認定視能訓練士	p. 12-14
1. 申請条件	
2. 認定申請	
3. 認定視能訓練士の更新	
4. 更新手続きと申請	
5. 認定視能訓練士の認定更新までの流れ	
IX. 認定専任教員	p. 15-17
1. 申請条件	
2. 認定申請	
3. 認定専任教員の更新	
4. 更新手続きと申請	
5. 認定専任教員の認定更新までの流れ	
X. 生涯教育制度の休止および復帰について	p. 18

XI. 申請書式・単位取得申告書および履修管理表	p. 18-20
<u>[I] 生涯教育制度登録申請関連</u>	p. 21-26
I-1. 生涯教育制度登録申請書	
I-2. 視能訓練士生涯教育単位表	
I-3. 単位に関する留意事項	
<u>[II] 新人教育プログラム関連</u>	p. 27-35
II-1. 新人教育プログラム履修申請書	
II-2. 新人教育プログラム修了申請書	
II-3a. 学会等出席に伴う単位取得申告書	
II-3b. 学会等発表に伴う単位取得申告書	
II-3c. 論文等発表に伴う単位取得申告書	
II-3d. 著作等発表に伴う単位取得申告書	
II-4. 新人教育プログラム免除申請書	
II-5. 新人教育プログラム履修管理表	
<u>[V] 基礎教育プログラム関連</u>	p. 36-44
V-1. 基礎教育プログラム履修申請書	
V-2. 基礎教育プログラム修了申請書	
V-3. 基礎教育プログラム修了申請書（基礎Ⅲ免除者用）	
V-4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書	
V-4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書	
V-4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書	
V-4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書	
V-5. 基礎教育プログラム履修管理表	
<u>[VII] 専門教育プログラム関連</u>	p. 45-46
VII-1. 専門教育プログラム履修申請書	
<u>[VIII] 認定視能訓練士関連</u>	p. 47-57
VIII-1. 認定視能訓練士認定申請書	
VIII-2. 勤務証明書（申請用）	
VIII-3. 会員証用顔写真台紙	
VIII-4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書	
VIII-4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書	
VIII-4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書	
VIII-4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書	
VIII-5. 認定視能訓練士更新登録申請書	
VIII-6. 勤務証明書（更新用）	
VIII-7. 認定視能訓練士更新単位管理表	

[IX] 認定専任教員関連 p. 58-71

- IX-1. 専任教員認定制度登録申請書
- IX-2. 認定専任教員認定申請書
- IX-3. 視能訓練士養成所勤務証明書（認定専任教員用：教育経験）
- IX-4. 臨床勤務証明書（認定専任教員用：臨床経験）
- IX-5a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- IX-5b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- IX-5c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- IX-5d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- IX-6. 会員証用顔写真台紙
- IX-7. 認定専任教員認定単位管理表
- IX-8. 認定専任教員認定更新登録申請書
- IX-9. 視能訓練士養成所勤務証明書（認定専任教員更新用）
- IX-10. 認定専任教員更新単位管理表

[X] 生涯教育制度の休止および復帰関連 p. 72-76

- X-1. 休止届
- X-2. 復帰届
- X-3. 休止届（認定専任教員用）
- X-4. 復帰届（認定専任教員用）

[XI] 生涯教育認定事業関連 p. 77-81

- XI-1. 生涯教育事業認定申請書
- XI-2. 生涯教育事業名称変更届
- XI-3. 生涯教育事業認定取り下げ願い

[XII] その他 p. 82-86

- XII-1. 会員証再発行申請書
- XII-2. 会員証（認定）再発行申請書
- XII-3. 認定視能訓練士・認定専任教員バッジ購入申請書
- XII-4. 認定視能訓練士・認定専任教員認定証再発行申請書

生涯教育制度履修の手引き

はじめに

最新版の手続集・ハンドブックは協会ホームページよりダウンロードできます。よく読み、各自が行わなければならない事柄とその時期を確認し、必ず期日までに手続きをしてください。

1. 各種申請および登録は協会ホームページの会員専用サイトから、もしくは申請書類を協会事務局（以下事務局）に郵送してください。
2. 各種申請書類の提出期限は厳守してください。
3. 修了申請に必要な生涯教育各プログラムの証明書等は各自で管理を行ってください。
他団体主催の学会等についてもネームカードのコピーまたは参加証明書（いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要）を必ず保存してください。

I. 生涯教育制度の登録

プログラムの履修を始めるにあたり1. 2. のいずれかの方法で生涯教育制度の登録が必要である。

1. 協会ホームページの会員専用サイトから登録申請を行い、登録料 2,000 円を振り込む。
2. 下記の書類を事務局に郵送する。
 - 1) 生涯教育制度登録申請書（I-1）
 - 2) 登録料 2,000 円の振込み受領書のコピー

申請書と入金確認後、1. はメール、2. は葉書での通知をもって生涯教育制度の登録完了となる。

申請書郵送先： 〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル 2階

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長宛

登録料振込先： 三菱 UFJ 銀行 アサガヤ 阿佐ヶ谷支店

普通預金 口座番号 1464018

口座名 ショウガイキョウイクグチ 生涯教育口 公益社団法人日本視能訓練士協会

Ⅱ. 新人教育プログラム

1. 履修条件

- 1) 原則として国家資格取得後（以下免許取得後）5年以内の者。
- 2) 協会ホームページの会員専用サイトから生涯教育制度登録申請および新人教育プログラム履修申請を行う、もしくは生涯教育制度登録申請書（Ⅰ-1）および新人教育プログラム履修申請書（Ⅱ-1）を事務局に郵送し、登録完了の通知を受けていること。

2. 修了条件

新人教育プログラム履修申請日より5年以内に修了すること。

- 1) 講義日程を履修していること。
- 2) 技術日程を履修していること。
- 3) 学会等による単位を取得していること。

原則は技術日程3項目を履修し13単位以上の単位を取得とするが、3項目の履修が困難であった場合に限り技術日程を単位に振り替えることができる。

単位は視能訓練士生涯教育単位表（Ⅰ-2）（以下生涯教育単位表）に従う（ネームカードのコピーまたは参加証明書を保存する）。

- (1) 技術日程3項目修了者は13単位以上
- (2) 技術日程2項目修了者は15単位以上
- (3) 技術日程1項目修了者は17単位以上
- (4) 講義日程のみ修了者は19単位以上 ただし、協会が主催する日本視能矯正学会または総会に伴う講演会（研修会）に2回以上参加し単位に加えること。

留意事項：免許取得後3年以内の者がプログラムを修了する場合は技術日程3項目の履修が必須であり、技術日程を単位に振り替えることは出来ない。

- (2021年以降 免許取得後5年以内の者がプログラムを修了する場合は技術日程3項目の履修が必須であり、技術日程を単位に振り替えることは出来ないとなる)

3. 修了申請

1) 申請

- (1) 新人教育プログラム修了申請書（Ⅱ-2）
- (2) 単位取得申告書（Ⅱ-3a～3d）

添付書類 ＊協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー

＊ その他の学会の単位：ネームカードのコピーまたは参加証明書（いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要）

＊ 学会、論文および著作等発表は抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピー

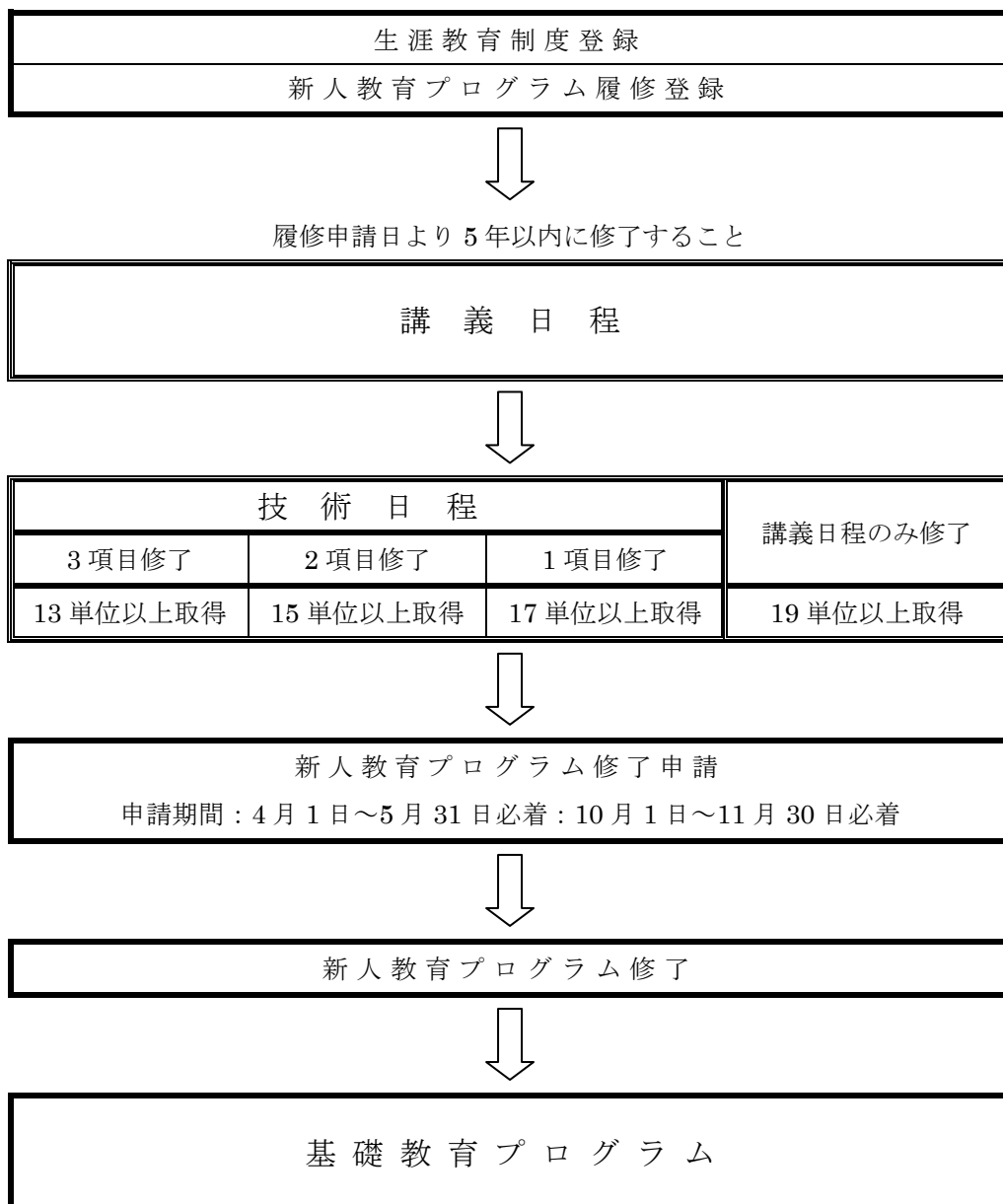
(1) ~ (2) を事務局に郵送する。

2) 申請期間：4月1日～5月31日必着および10月1日～11月30日必着の2期間

4. 修了証授与

新人教育プログラム履修申請日より5年以内に修了条件を満たし、必要な書類を申請・提出した者は、理事会の承認を経て修了となる。理事会の承認後、修了証が申請者に発行・送付される。

5. 新人教育プログラム修了までの流れ



Ⅲ. 免許取得後 6 ～ 10 年目の者について

免許取得後 6～10 年目の者は、HP の会員専用サイトから生涯教育制度登録申請および新人教育プログラム履修申請を行う、もしくは生涯教育制度登録申請書 (I-1) および新人教育プログラム履修申請書 (II-1) を事務局に郵送し、登録開始から 5 年以内に講義日程の履修および必要単位数 19 単位以上を取得し新人教育プログラム修了申請を行うことにより、基礎教育プログラムへ進むことができる。

Ⅳ. 新人教育プログラムの免除者について

免許取得後 10 年を経過した者 (11 年目に入る者) で基礎教育プログラムの履修を申請する者は、協会ホームページの会員専用サイトもしくは郵送にて**必ず新人教育プログラム免除申請** (新人教育プログラム免除申請書 (II-4) の提出) を行うこと。

※ 生涯教育制度への登録が完了していない場合は、同時に生涯教育制度登録申請 (生涯教育制度登録申請書 (I-1) の提出) を行うこと。

Ⅴ. 基礎教育プログラム

1. 履修条件

- 1) 新人教育プログラムの修了または新人教育プログラムの免除を受けていること。
- 2) ホームページの会員専用サイトから基礎教育プログラム履修申請を行う、もしくは基礎教育プログラム履修申請書 (V-1) を事務局に郵送し、登録完了の通知を受けていること。

2. 修了条件

基礎教育プログラム履修申請日より 10 年以内に修了すること。

- 1) 基礎教育プログラム I、II、III を修了し、修了証を受領していること。
- 2) 生涯教育単位表 (I-2) に従い、20 単位以上を取得していること (参加証明書あるいは領収書のコピーを保存する)。

3. 修了申請

1) 申請

- (1) 基礎教育プログラム修了申請書 (V-2)
- (2) 単位取得申告書 (V-4a～4d)

添付書類 * 協会承認済の単位 : 会員ログインサイトの単位状況メモのコピー

* その他の学会の単位 : ネームカードのコピーまたは参加証明書 (いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要)

* 学会、論文および著作等発表は抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピー

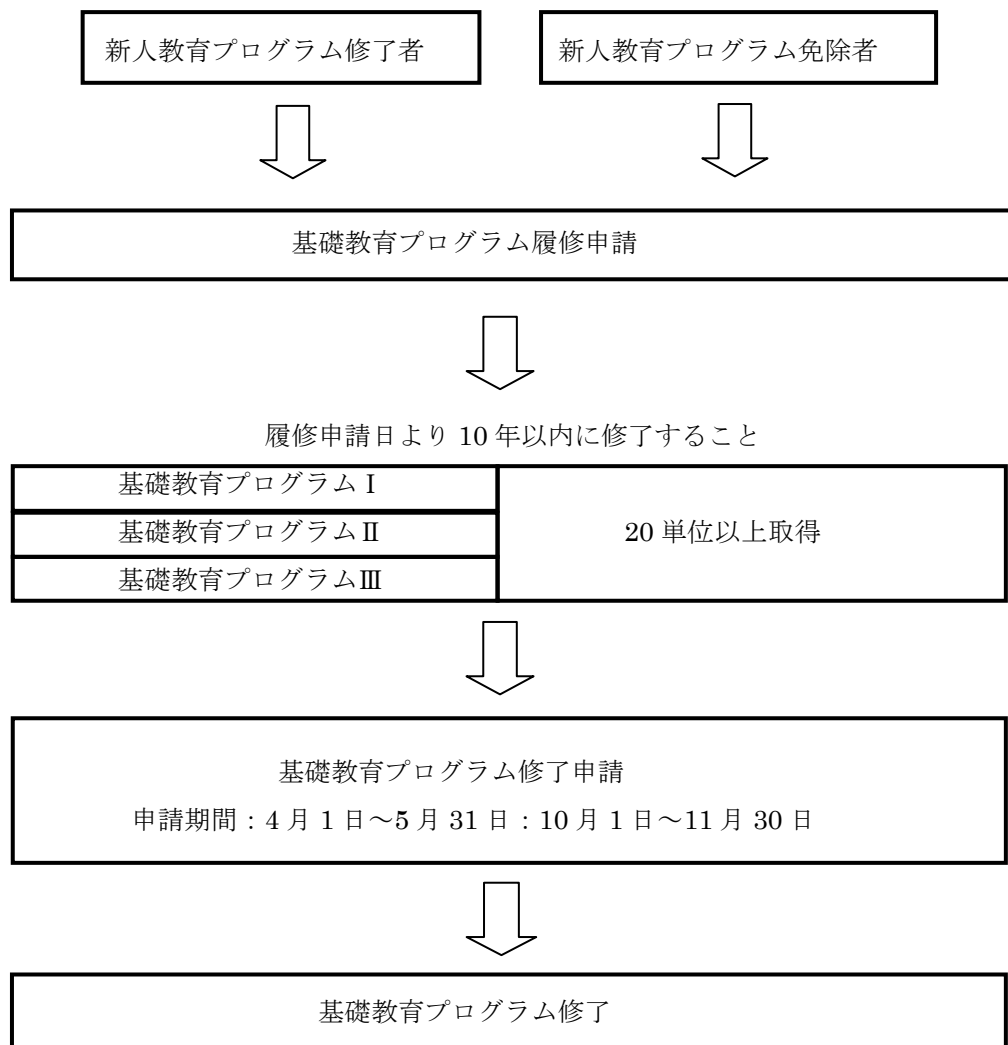
- (1) ～ (2) を事務局に郵送する。

2) 申請期間：4月1日～5月31日必着および10月1日～11月30日必着の2期間

4. 修了証授与

基礎教育プログラム履修申請日より10年以内に修了条件を満たし、必要な書類を申請・提出した者は、理事会の承認を経て修了となる。理事会の承認後、修了証が申請者に発行・送付される。

5. 基礎教育プログラム修了までの流れ



VI. 免許取得後15年目以上の者について

免許取得後15年目以上の者は、希望により基礎教育プログラムⅢの受講を指定学会への参加に振替えることを認める。なお振替で参加した学会の参加単位は、修了に必要な単位数には含まない。

指定学会

視能矯正・・・日本視能矯正学会および日本弱視斜視学会総会

視能障害・・・日本ロービジョン学会総会および日本ロービジョン学会研修会1・2

※指定学会は基礎教育プログラム履修申請日以降に参加したものとし、修了申請時は基礎教育プログラム修了申請書（基礎Ⅲ免除者用）（V-3）を使用すること。

VII. 専門教育プログラム

1. 履修条件

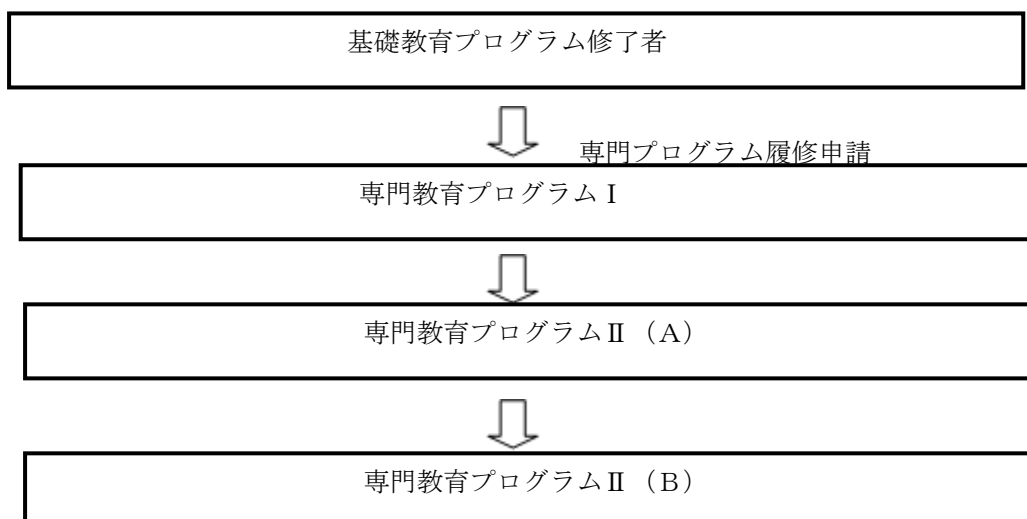
- 1) 基礎教育プログラムの修了者
- 2) ホームページの会員専用サイトから専門教育プログラム履修申請を行う、もしくは専門教育プログラム履修申請書(VII-1)を事務局に郵送し、登録完了の通知を受けていること。

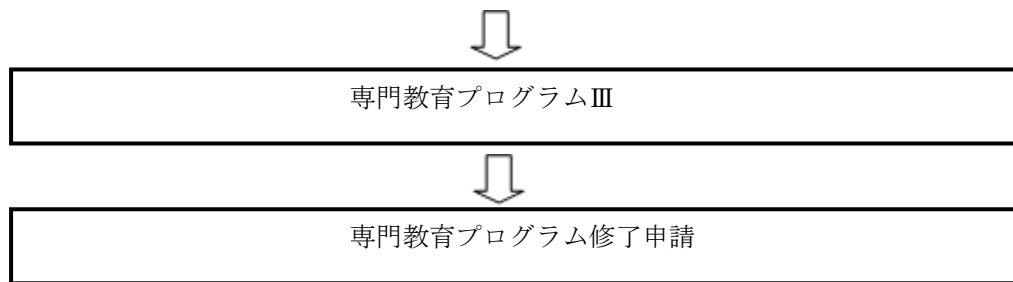
2. 修了条件

専門教育プログラムは、専門教育プログラムⅠ 専門教育プログラムⅡ（A:視能検査学 B:眼鏡・光学、視能訓練学、視能障害学）、専門教育プログラムⅢで構成される。

プログラムはⅠ→Ⅱ(A)→Ⅱ(B)→Ⅲの順序で受講する

3. 専門教育プログラム修了までの流れ





VIII. 認定視能訓練士

下記の条件を満たすものは認定視能訓練士の認定申請が出来る。

1. 申請条件

- 1) 基礎教育プログラムを修了していること。
- 2) 免許取得後5年以上かつ1300日以上 of 臨床経験があること。
- 3) 基礎教育プログラム履修申請日から起算して780日以上 of 臨床経験があること。
- 4) 認定申請時に勤務していること。

2. 認定申請

- 1) 申請（基礎教育プログラム修了申請後5年以内に行うこと）
 - (1) 認定視能訓練士認定申請書(VIII-1)
 - (2) 勤務証明書(VIII-2)（申請用）

※臨床経験の年数(日数)は必要勤務年数に含まれる勤務先のすべてについて必要とする。
証明欄は勤務先に記入を依頼し、証明を受けるものとする。
 - (3) 会員証用顔写真（背景無地・縦3.0 cm×横2.4 cmを会員証用顔写真台紙(VIII-3)に添付）

(1)～(3)を事務局に郵送する。
- 2) 申請期間：1月15日～2月末日必着
- 3) 認定

提出書類に不備がなければ、理事会承認後に認定視能訓練士認定証と会員証および認定バッジが申請者に発行・送付される。

3. 認定視能訓練士の更新

- 1) 認定更新条件
 - (1) 認定視能訓練士認定後、学会参加等により5年間に20単位以上を取得していること。
生涯教育単位表(I-2)および単位に関する留意事項(I-3)に従い、1年間に最低0.5単位以上を取得していること。
 - (2) 協会が主催する日本視能矯正学会または総会に伴う講演会（研修会）に2回以上参加し

単位に加えること。

- (3) 5年間で通算500日以上の臨床経験があること（臨床経験については勤務証明書の提出を必要とする）。

注：5年間に(1)～(3)ができなかった場合、認定視能訓練士の認定は失効される。再認定のためには新規に基礎教育プログラムを履修する必要がある。

- (4) 認定更新時に勤務していること。

(1)～(3)は満たしているが更新申請期間に一身上の都合で休職している場合は1年に限り休止届の提出を認める（詳細は休止届のページを確認すること）

4. 更新手続きと申請

- 1) 申請 (1)～(5)を事務局に郵送する。

- (1) 認定視能訓練士更新登録申請書(VIII-5)
 (2) 更新料(5年間分)7,000円(振込み受領書のコピー)
 (3) 単位取得申告書(VIII-4a～4d)

添付書類 *協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー

*その他の学会の単位：ネームカードのコピーまたは参加証明書(いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要)

*学会、論文および著作等発表は抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピー

- (4) 勤務証明書(VIII-6)(更新用)

※ 臨床経験の年数(日数)は更新登録認定日より5年経過時のものであり、勤務年数に含まれる勤務先のすべてについて必要とする。証明欄は勤務先に記入を依頼し、証明を受けるものとする。

- (5) 会員証用顔写真(背景無地・縦3.0cm×横2.4cmを会員証用顔写真台紙(VIII-3)に添付)

- 2) 申請期間：1月15日～2月末日必着(更新年を1年目とした場合、5年目の上記日程となる)

例：1年目 2013年4月1日～2014年3月31日

2年目 2014年4月1日～2015年3月31日

3年目 2015年4月1日～2016年3月31日

4年目 2016年4月1日～2017年3月31日

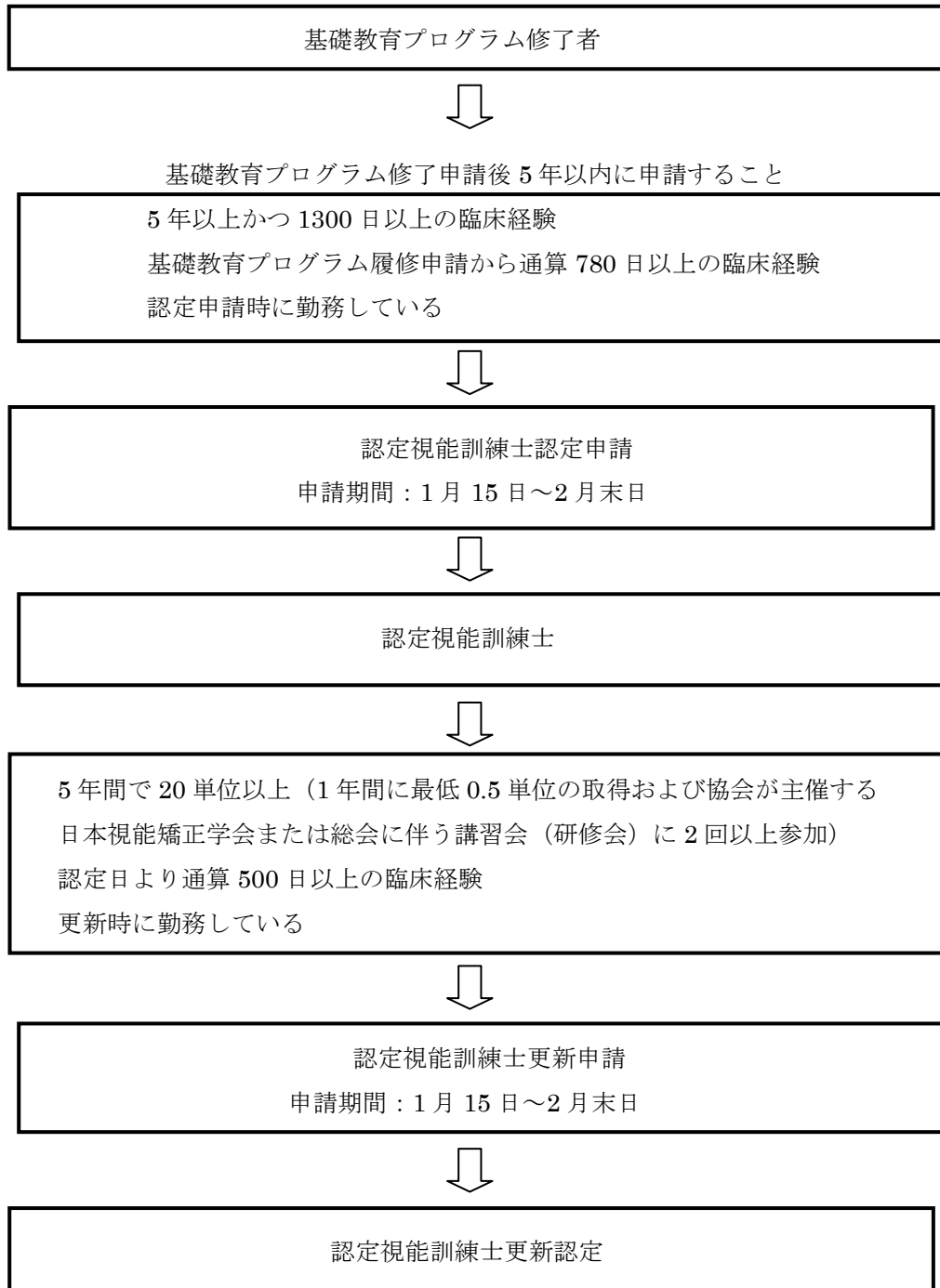
5年目 2017年4月1日～2018年3月31日

※ 更新期間は2018年1月15日～2月末日

- 3) 認定

認定視能訓練士更新登録認定日より5年毎に更新認定に必要な書類を申請・提出したものは理事会の承認を経て更新認定となり、認定視能訓練士認定証と会員証が申請者に発行・送付される。

5. 認定視能訓練士の認定申請までの流れ



IX. 認定専任教員

下記の条件を満たすものは認定専任教員の認定申請が出来る。

1. 申請条件

- 1) 視能訓練士の学生の教育に携わる者。
- 2) 視能訓練士としての臨床経験が5年以上（年間100日以上）ある者
- 3) 視能訓練士養成所（以下養成所）において、視能訓練士教育に5年以上（年間100日以上）継続して携わる者。
- 4) 基礎教育プログラムⅠⅡ、および実習施設指導者等養成講習会を修了していること。
- 5) 認定専任教員登録申請をしてから別に定める学会参加等により、認定専任教員認定申請年度を含む過去5年間に20単位以上取得していること。

注) 大学院修士または博士課程を修了した者、もしくは大学設置審議会の教員組織審査に合格した者については、2)と3)を3年以上とする。

2. 認定申請

- 1) 申請（基礎教育プログラム修了申請後5年以内に申請をすること）
 - (1) 専任教員認定制度登録申請書（IX-1）
 - (2) 基礎教育プログラムⅡの修了証のコピー
 - (3) 実習施設指導者等養成講習会修了証コピー
 - (4) 認定専任教員認定申請書（IX-2）
 - (5) 視能訓練士養成所勤務証明書（IX-3）
 - (6) 臨床勤務証明書（IX-4）
 - (7) 単位取得申告書（IX-5a～d）
 - (8) 会員証用顔写真（背景無地・縦3.0cm×横2.4cmを会員証用顔写真（IX-6）に添付）
 - (1)～(8)を事務局に郵送する。
- 2) 申請期間：毎年1月15日から2月末日必着
- 3) 認定
提出書類に不備がなければ、理事会承認後に認定専任教員認定証と会員証、および認定バッジが申請者に発行・送付される。

3. 認定専任教員の更新

1) 認定更新条件

- (1) 認定専任教員資格を有する者
- (2) 認定専任教員認定後 5 年間(500 日以上)継続して視能訓練士養成学校で教育経験がある。
- (3) 日本視能矯正学会、日本医学教育学会、全国視能訓練士学校協会教員研修会、それぞれに 5 年間に 1 回以上参加している。(申請時と更新時で参加義務学会が異なるので注意すること)
- (4) 参加義務学会を含め、5 年間で 20 単位以上、毎年最低 0.5 単位取得している。

注：5 年間に (2) ～ (4) ができなかつた場合、認定専任教員の認定は失効される。

再認定のためには新規に基礎教育プログラムを履修する必要がある。

4. 更新手続きと申請

1) 申請

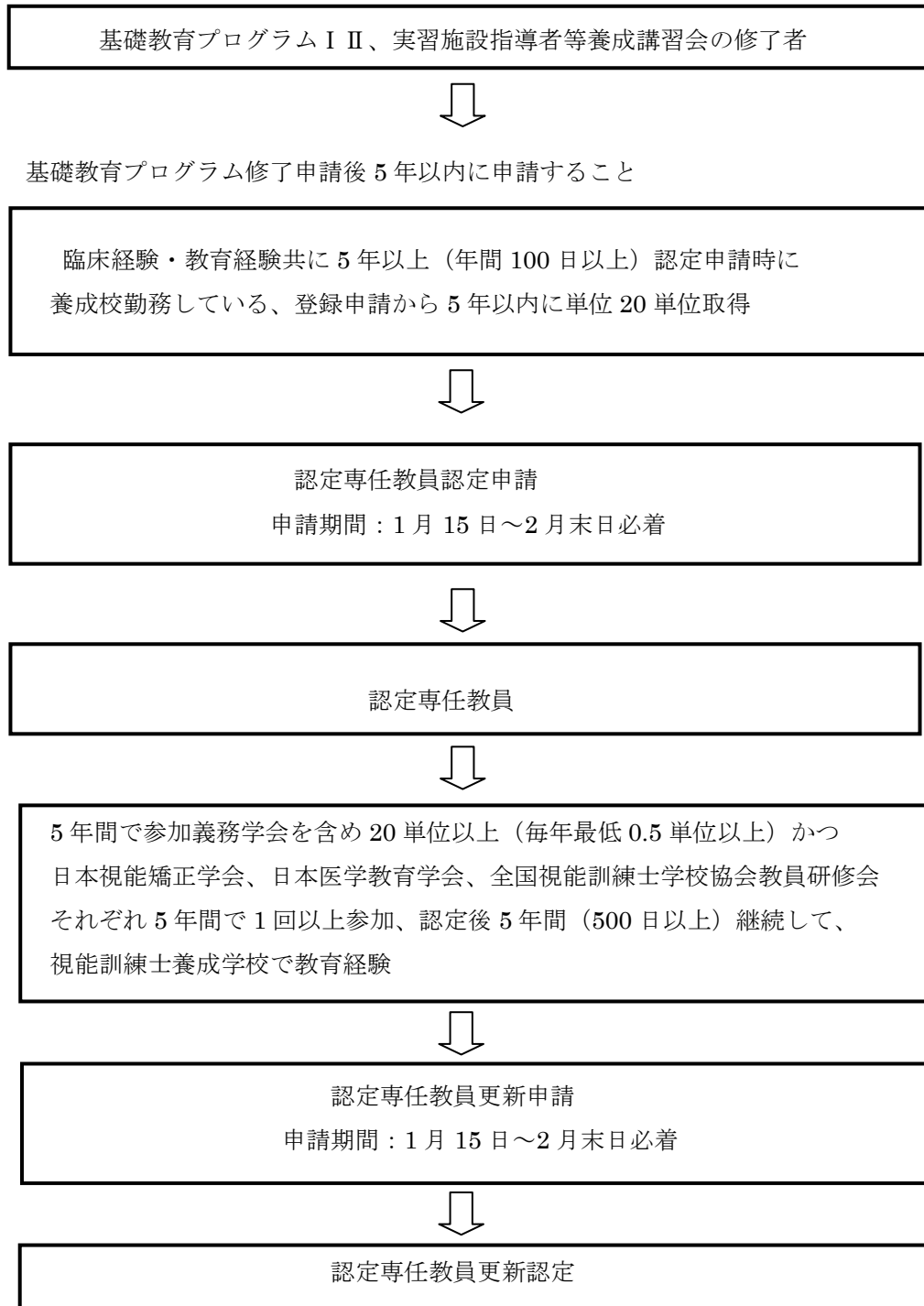
- (1) 認定専任教員認定更新登録申請書 (IX-8)
- (2) 更新料 (5 年間分) 7,000 円 (振込み受領書のコピー)
- (3) 単位取得申告書 (IX-5a～5d)
 - 添付書類 * ネームカードのコピーまたは参加証明書 (いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要)
 - * 学会、論文および著作等発表は抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピー
- (4) 視能訓練士養成所勤務証明書 (更新用) (IX-9)
 - ※ 教育経験の年数 (日数) は更新登録認定日より 5 年経過時のものであり、勤務年数に含まれる勤務先のすべてについて必要とする。
- (5) 会員証用顔写真 (背景無地・縦 3.0 cm×横 2.4 cm を会員証用顔写真台紙 (IX-6) に添付)
 - (1) ～ (5) を事務局に郵送する。

2) 申請期間：1 月 15 日～2 月末日必着

3) 認定

認定専任教員更新登録認定日より 5 年毎に更新認定に必要な書類を申請・提出した者は理事会の承認を経て更新認定となり、認定専任教員認定証と会員証が申請者に発行・送付される

5. 認定専任教員の認定申請までの流れ



X. 生涯教育制度の休止および復帰について

- 1) 履修中のプログラムを休止しようとする場合は休止届（X-1）、再開する時は復帰届（X-2）を協会ホームページからダウンロードし、必要書類と共に郵送にて提出すること。
- 2) 休止期間が1年を超える場合は、1年毎に休止届（X-1）を提出すること。

XI. 申請書式・単位取得申請書・単位表・履修管理表

協会ホームページよりダウンロードして郵送すること。☛<https://secure.jaco.or.jp/kyouiku>

※（I-1）（II-1）（V-1）（VII-1）（II-4）に関しては協会ホームページの会員ログインサイトから登録可能。

[I] 生涯教育制度登録申請関連

- I-1. 生涯教育制度登録申請書
- I-2. 視能訓練士生涯教育単位表
- I-3. 単位に関する留意事項

[II] 新人教育プログラム関連

- II-1. 新人教育プログラム履修申請書
- II-2. 新人教育プログラム修了申請書
- II-3a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- II-3b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- II-3c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- II-3d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- II-4. 新人教育プログラム免除申請書
- II-5. 新人教育プログラム履修管理表

[V] 基礎教育プログラム関連

- V-1. 基礎教育プログラム履修申請書
- V-2. 基礎教育プログラム修了申請書
- V-3. 基礎教育プログラム修了申請書（基礎Ⅲ免除者用）
- V-4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- V-4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- V-4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- V-4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- V-5. 基礎教育プログラム履修管理表

[VII] 専門教育プログラム関連

- VII-1. 専門教育プログラム履修申請書

[VIII] 認定視能訓練士関連

- VIII-1. 認定視能訓練士認定申請書
- VIII-2. 勤務証明書（申請用）
- VIII-3. 会員証用顔写真台紙
- VIII-4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- VIII-4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- VIII-4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- VIII-4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- VIII-5. 認定視能訓練士更新登録申請書
- VIII-6. 勤務証明書（更新用）
- VIII-7. 認定視能訓練士更新単位管理表

[IX] 認定専任教員関連

- IX-1. 専任教員認定制度登録申請書
- IX-2. 認定専任教員認定申請書
- IX-3. 視能訓練士養成所勤務証明書（認定専任教員用：教育経験）
- IX-4. 臨床勤務証明書（認定専任教員用：臨床経験）
- IX-5a. 学会等出席に伴う単位取得申告書
- IX-5b. 学会等発表に伴う単位取得申告書
- IX-5c. 論文等発表に伴う単位取得申告書
- IX-5d. 著作等発表に伴う単位取得申告書
- IX-6. 会員証用顔写真台紙
- IX-7. 認定専任教員認定単位管理表
- IX-8. 認定専任教員認定更新登録申請書
- IX-9. 視能訓練士養成所勤務証明書（認定専任教員更新用）
- IX-10. 認定専任教員更新単位管理表

[X] 生涯教育制度の休止および復帰関連

- X-1. 休止届
- X-2. 復帰届
- X-3. 休止届（認定専任教員用）
- X-4. 復帰届（認定専任教員用）

[XI] 生涯教育認定事業関連

- XI-1. 生涯教育事業認定申請書
- XI-2. 生涯教育事業名称変更届
- XI-3. 生涯教育事業認定取り下げ願い

[XII] その他

- XII-1. 会員証再発行申請書
- XII-2. 会員証（認定）再発行申請書
- XII-3. 認定視能訓練士・認定専任教員バッジ購入申請書
- XII-4. 認定視能訓練士・認定専任教員認定証再発行申請書

※すべて西暦で記載のこと

申請書等の郵送先： 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル 2階
公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長宛

[I] 生涯教育制度登録申請関連

I-1. 生涯教育制度登録申請書

生涯教育制度登録申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

会 員 番 号 :

ふ り が な

氏 名 :

免 許 取 得 年 : 年

免 許 登 録 番 号 : 号

1. 勤 務 先 :

2. 勤 務 先 住 所 :

3. 勤 務 先 電 話 番 号 :

4. 現 住 所 :

5. 連 絡 先 電 話 番 号 :

書類送付先は原則として協会の会員登録の住所とします。

住所変更された方は会員登録先住所の変更手続きを行ってください。

事務局使用欄

生涯教育制度登録番号

受付年月日

年 月 日

I-2 視能訓練士生涯教育単位表 注) 単位数は I-3 単位に関する留意事項を必ず参照すること

2019年9月現在

【発表等】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称	筆頭	共同	講師/シンポジスト	
国内	全国	日本視能矯正学会（口頭）	3	1	5 4	
		(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会（展示）	2	1	
			日本視能矯正学会 生涯教育セミナー			4
			総会に伴う講演会と研修会	3	1	4 3
		(公益財団法人) 医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会			5
			※1(口頭)	3	1	5 4
			※1(展示)	2	1	
			※2(口頭・展示)	2	1	5 4
			※4			5 4
			協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	2	1	5 4
協会が共催または後援する事業	※6 協会が共催または後援する会	2	1	5 4		
地方	認定事業	地域視能訓練士会	1		3	
国際	IOA加盟国	※3(口頭)	4	1	6 5	
		※3(展示)	3	1		
		IOA加盟国主催学会	2	1	4 3	

【誌上发表】

	発行機関	掲載誌等の名称	筆頭	第2	第3
邦文	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能訓練士協会誌	5	3	1
		※1、2 関連雑誌	5	3	1
欧文	※3	※3 関連雑誌	6	3	1
	※5	※5 その他の雑誌	6	3	1

【学会参加】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称		
国内	全国	日本視能矯正学会	6 (2011年度までは4)	
		(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会 生涯教育セミナー	1
			日本視能矯正学会 認定視能訓練士セミナー	1
			総会に伴う講演会と研修会	5 (2011年度までは3)
		(公益財団法人) 医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会	6 (2011年度までは8)
			※1	4
			※2	2
			※4	1
			協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	1
		協会が共催または後援する事業	※6 協会が共催または後援する会	1日1単位・2日以上3単位 ※2日以上で分割可能な場合 1日1単位
日眼生涯教育事業	※7 単位付与を申請した会			
地方	認定事業	地域視能訓練士会	1	
国際	IOA加盟国	※3	5	
		IOA加盟国主催学会	3	

【その他の単位取得】

国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	指定論文への解答	0.5
			施設見学	1
			指導者育成研修会	1項目につき1

I-3 単位に関する留意事項

1. 発表者には出席の単位も加算される。
2. 2つ以上の学会が合同で行なわれる場合でも同時進行の場合は片方の単位とし、日数の増加があるときは考慮する。なお、すでに単位申請が認められている学会との共同開催であったとしても単位申請が認められていない学会名での単位申請はできない。
3. 地域主催の勉強会等については所定の手続きにより生涯教育事業の認定を受けること。
(生涯教育事業認定申請書XI-1)
4. 地域主催の勉強会等の参加については3時間以上を1単位、1.5時間～3時間未満では0.5単位とする。1年間に複数回参加しても取得単位は合わせて1単位までとする。発表の単位に制限はない。
5. 協会が主催する施設見学は1単位として年1回まで認める。施設見学研修実施証明証発行。
6. 国際学会では参加証明書もしくは領収書のコピーを単位証明とする。
7. 認定視能訓練士および認定専任教員の更新条件として1年間に最低0.5単位以上の取得を義務とする。
8. 毎年発刊される日本視能訓練士協会誌の指定論文を読み、協会誌に添付されている問題の解答を生涯教育部に送ることで0.5単位を認める。(解答の送信方法は協会誌に記載された方法で実施すること)
9. ※1～※7については下記事業一覧を参照のこと。(2013年4月以降、下記学会に限る)

※1 一覧表

日本眼科学会総会	日本臨床眼科学会	日本弱視斜視学会総会
日本小児眼科学会総会	日本神経眼科学会総会	日本医学会総会
日本ロービジョン学会総会		

※2 一覧表 (2日以上開催の学会)

日本眼科手術学会総会	日本白内障学会総会	日本糖尿病眼学会
日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS 学術総会)		日本眼光学学会総会
日本緑内障学会	日本眼薬理学会	日本コンタクトレンズ学会総会
日本視野画像学会学術集会 (2013年度開催以降)		日本涙道・涙液学会
日本眼感染症学会	日本眼炎症学会	日本眼循環学会
角膜カンファランス・日本角膜移植学会		日本眼腫瘍学会
日本臨床視覚電気生理学会	日本網膜硝子体学会総会	日本リハビリテーション医学会
日本近視学会総会 (2018年度開催以降)		日本小児神経学会
日本リハビリテーション連携科学学会		日本発達障害学会

日本小児精神神経学会	日本小児保健協会学術集会	日本臨床神経生理学会
日本医学教育学会	日本保健医療福祉連携教育学会	日本LD学会
日本特殊教育学会	全国視能訓練士学校協会教員研修	
日本心理学会	日本認知心理学会	日本発達心理学会
日本神経心理学会	日本教育心理学会	日本応用心理学会
認知神経科学会	応用物理学会	日本光学会

※3 一覧表 (国際学会)		
国際視能矯正学会 (IOA congress)	国際斜視学会 (ISA)	ヨーロッパ斜視学会 (ESA)
国際ロービジョン学会 (ISLRR)	国際眼科学会 (WOC)	米国眼科学会議 (AAO)
視覚と眼科学協会会議 (ARVO)	国際視野画像学会 (IPS)	国際近視学会 (IMC)
北米神経科学会 (Society for Neuroscience)		
Organization for Human Brain Mapping (OHBM)		

※3 国際詩や画像学会 (IPS) 2018 年開催、国際近視学会 (IMC) 2019 年開催のワンデーパスは 1 単位

※4 日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会合同講習会は 1 単位、日本ロービジョン学会研修会 1、2 はそれぞれ 0.5 単位ずつ (ともに 2013 年度開催以降)

※5 査読付き

※6 一覧表		
眼光学チュートリアルセミナー	視覚生理学基礎セミナー	ロービジョンケア講習会
視能訓練士のためのロービジョン講習会	日本医療マネジメント学会 (2016 年以降)	
視覚障害リハビリテーション研究発表大会 (第 21 回、第 22 回、第 23 回、第 24 回、第 25 回、第 27 回、第 28 回)		
視能訓練士ロービジョン研修会 (2019 年度)		
九州眼科学会 (第 89 回)	関東甲信越眼科学会 (第 55 回)	

※7 一覧表

●注意事項

1. 2013年4月現在、協会が協賛・共催する学会とは2012年度以降の日本臨床眼科学会と2012年度以降の日本眼科学会総会の2学会です。両学会については学会参加単位の他に視能訓練士プログラムの参加で1単位が認められます。
なお2012年11月までに開催された※1、2の学会における視能訓練士プログラムのみの参加の場合は、サンデーパスなどの領収書のコピーの提出をもって1単位が認められます。
2. 「視能訓練士のためのロービジョンケア講習会」と「ロービジョンケア講習会」と「実習施設指導者等養成講習会」は、修了証のコピーをつけてください。
施設見学研修をされた方は施設見学研修実施証明証のコピーをつけてください。
3. 第6回日本ロービジョン学会研修会1、2（2017年開催）は、学会会期中に開催されるため単位が認められません。
4. 第74回日本弱視斜視学会総会（2018年開催：荒天により2日目中止）は、第74回日本弱視斜視学会総会の出席者は4単位（通常通り）、発表（口頭・展示）も通常通り単位取得できます。また基礎教育プログラムⅢ（視能矯正）の免除学会としても通常通り認められます。なお第34回日本弱視斜視学会講習会に関しては、参加および演者とも単位が認められません。

[Ⅱ] 新人教育プログラム関連

II-2. 新人教育プログラム修了申請書

新人教育プログラム修了申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

会 員 番 号 :

ふ り が な

氏 名 :

免 許 取 得 年 : 年

新人教育プログラム履修申請日 : 年 月 日

私は新人教育プログラム修了認定に必要な単位を取得しましたので、以下の書類を添付し修了証の交付を申請いたします。

1. 単位	計	単位
1) 学会等出席に伴う単位取得		
①協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー		通
②その他の学会の単位：学会等出席に伴う単位取得		通
2) 学会等発表に伴う単位取得申告書		通
3) 論文等発表に伴う単位取得申告書		通
4) 著作等発表に伴う単位取得申告書		通

上記の1に必要な事項を記入し、1)～4)の該当する箇所に○をしてください。

- * ネームカードのコピーには学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要です。
- * 参加証明書の場合、領収書のコピーが必要です。
- * 単位取得申告書は日程順にまとめて記載してください。

II-3a. 学会等出席に伴う単位取得申告書

【新人教育プログラム用】

学会等出席に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、新人教育プログラムの申請日から起算し、5年間に下記の学会等に出席しました。
報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

学会・講演会・シンポジウム（またはそれに準じるもの*）・講習会の別と会の名称および開催
日程、開催地の記載を開催日順に記載してください。

*眼科学会主催等の視能訓練士対象のプログラム、シンポジウムなど。

例. 日本視能矯正学会 2007年11月3日～4日 東京

事務局欄

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

* ネームカードのコピーまたは参加証明書（いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要）を
添付してください。

* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

II-3b. 学会等発表に伴う単位取得申告書

【新人教育プログラム用】

学会等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の学会等において発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

事務局欄

- * 学会別に記載してください。
- * 発表形式は一般講演者、ポスター講演者、シンポジストあるいは講演会等の講師等と記載して抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- * 発表者のすべてを記載し、申請者に下線を入れてください。3番までが単位として認められます。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページからダウンロードして使用してください。

II-3c. 論文等発表に伴う単位取得申告書

【新人教育プログラム用】

論文等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の論文を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

巻 号	頁	発行年(西暦)	共同執筆者
	P ~P	年	1.
			2.
			3.

事務局欄

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

巻 号	頁	発行年(西暦)	共同執筆者
	P ~P	年	1.
			2.
			3.

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

巻 号	頁	発行年(西暦)	共同執筆者
	P ~P	年	1.
			2.
			3.

- * 申請者が共同執筆者の時は発表と同じ順位で3番までが単位として認められます。
- * 掲載雑誌等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

Ⅱ-3d. 著作等発表に伴う単位取得申告書

【新人教育プログラム用】

著作等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の書籍を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

事務局欄

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

* 著者名とタイトルの記載がある部分（表紙等）のコピーを添付してください。

* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

Ⅱ-4. 新人教育プログラム免除申請書

新人教育プログラム免除申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

会員番号

ふりがな

氏 名

免許取得年 年

私は免許取得後 10 年を経過しました (11 年目に入りました) ので、新人教育プログラムの免除を申請いたします。

注) 生涯教育制度への登録が完了していない場合は同時に登録申請を行ってください

II-5. 新人教育プログラム履修管理表

新人教育プログラム 履修管理表

※この用紙で申請はできません 自己管理用として使用してください

【講義日程】

	受講年月日	開催地	備考
1			

【技術日程】

	受講年月日	開催地	備考
1			
2			
3			

【学会等参加表】

	参加年月日	参加学会名	単位数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

[V] 基礎教育プログラム関連

V-2. 基礎教育プログラム修了申請書

基礎教育プログラム修了申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

会 員 番 号 :

ふ り が な

氏 名 :

免 許 取 得 年 : 年

基礎教育プログラム履修申請日 : 年 月 日

私は基礎教育プログラムⅠ、Ⅱ、Ⅲを修了し認定に必要な単位を取得しましたので、以下の書類を添付し修了証の交付を申請いたします。

1. 単位	計	単位
1) 学会等出席に伴う単位取得		
①協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー		通
②その他の学会の単位：学会等出席に伴う単位取得申告書		通
2) 学会等発表に伴う単位取得申告書		通
3) 論文等発表に伴う単位取得申告書		通
4) 著作等発表に伴う単位取得申告書		通

上記の1に必要な事項を記入し、1)～4)の該当する箇所に○をしてください。

- * ネームカードのコピーには学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要です。
- * 参加証明書の場合、領収書のコピーが必要です。
- * 単位取得申告書は日程順にまとめて記載してください。

V-3. 基礎教育プログラム修了申請書（基礎Ⅲ免除者用）

基礎教育プログラム修了申請書（基礎Ⅲ免除者用）

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

会 員 番 号 :

ふ り が な

氏 名 :

免 許 取 得 年 : 年

基礎教育プログラム履修申請日 : 年 月 日

指定学会参加日 :

1. 日本視能矯正学会 : 年 月 日 ~ 日
2. 日本弱視斜視学会総会 : 年 月 日 ~ 日
3. 日本ロービジョン学会総会 : 年 月 日 ~ 日
4. 日本ロービジョン学会研修会1 : 年 月 日
- 日本ロービジョン学会研修会2 : 年 月 日

※ 指定学会への参加単位は、修了に必要な単位数には含まれません。

私は基礎教育プログラムⅠ、Ⅱを修了かつ指定学会に参加し認定に必要な単位を取得しましたので、以下の書類を添付し修了証の交付を申請いたします。

1. 単位	計	単位
1) 学会等出席に伴う単位取得		
①協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー		通
②その他の学会の単位：学会等出席に伴う単位取得申告書		通
2) 学会等発表に伴う単位取得申告書		通
3) 論文等発表に伴う単位取得申告書		通
4) 著作等発表に伴う単位取得申告書		通

上記の1に必要事項を記入し、1)～4)の該当する箇所に○をしてください。

* ネームカードのコピーには学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要です。

* 参加証明書の場合、領収書のコピーが必要です。

* 単位取得申告書は日程順にまとめて記載してください。

V-4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書

【基礎教育プログラム用】

学会等出席に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は基礎教育プログラムの申請日から起算し、10年間に下記の学会等に出席しました。
報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

学会・講演会・シンポジウム（またはそれに準じるもの*）・講習会の別と会の名称および開催日程、開催地の記載を開催日順に記載してください。

*眼科学会主催等の視能訓練士対象のプログラム、シンポジウムなど。

例. 日本視能矯正学会 2007年11月3日～4日 東京

事務局欄

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

* ネームカードのコピーまたは参加証明書（いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要）

* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

V-4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書

【基礎教育プログラム用】

学会等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の学会等において発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

事務局欄

- * 学会別に記載してください。
- * 発表形式は一般講演者、ポスター講演者、シンポジストあるいは講演会等の講師等と記載して抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- * 発表者のすべてを記載し、申請者に下線を入れてください。3番までが単位として認められます。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページからダウンロードして使用してください。

V-4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書

【基礎教育プログラム用】

論文等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の論文を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

巻 号	頁	発行年(西暦)	共同執筆者
	P ~P	年	1.
			2.
			3.

事務局欄

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

巻 号	頁	発行年(西暦)	共同執筆者
	P ~P	年	1.
			2.
			3.

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

巻 号	頁	発行年(西暦)	共同執筆者
	P ~P	年	1.
			2.
			3.

- * 申請者が共同執筆者の時は発表と同じ順位で3番までが単位として認められます。
- * 掲載雑誌等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

V-4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書

【基礎教育プログラム用】

著作等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の書籍を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

事務局欄

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

* 著者名とタイトルの記載がある部分（表紙等）のコピーを添付してください。

* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

V-5. 基礎教育プログラム履修管理表

基礎教育プログラム 履修管理表

※この用紙で申請はできません 自己管理用として使用してください

		受講年月日	開催地	備考
【プログラムⅠ】	1			
【プログラムⅡ】	1			
【プログラムⅢ】	1			

【学会等参加表】

	参加年月日	参加学会名	単位数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

[Ⅶ] 専門教育プログラム関連

[Ⅷ] 認定視能訓練士関連

VIII-1. 認定視能訓練士認定申請書

認定視能訓練士認定申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

会 員 番 号 :

ふ り が な

氏 名 :

免 許 取 得 年 : 年

基礎教育プログラム履修申請日 : 年 月 日

私は基礎教育プログラムを修了し認定視能訓練士の認定に必要な臨床経験を積みましたので、以下の書類を添付し認定証の交付を申請いたします。

1. 勤務証明書 (申請用) 通
※ 基礎教育プログラム履修申請日より起算して 780 日以上なおかつ免許取得後
5 年以上かつ 1300 日以上の臨床経験があること。
2. 会員証用顔写真 (縦 3.0×横 2.4 cm) 1 枚
※ 背景無地、裏面に会員番号・氏名を記載し、VIII-3 会員証用顔写真台紙に貼付すること。

上記の 1 に必要事項を記入してください。

VIII-2. 勤務証明書（申請用）

勤 務 証 明 書（申請用）

（年度はすべて西暦で記載してください。）

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

※ 会 員 番 号 :

ふ り が な

※ 氏 名 :

※ 免 許 取 得 年 : 年

※ 基礎教育プログラム履修申請日 : 年 月 日

注) 申請時には免許取得後 5 年かつ 1300 日以上の臨床経験と、基礎教育プログラム履修申請日より 780 日以上の臨床経験が必要です。

上記の※部分は申請者が記載し、以下は勤務先に記入を依頼し証明を受けてください。

複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成してください。

~~~~~ 勤務先記入欄 ~~~~~

1. 勤務期間 と日にちを入れてください

勤務している 自 年 月 日 ~ 現在に至る (合計 日)

勤務していた 自 年 月 日 至 年 月 日 (合計 日)

※合計日数は勤務形態が不定期の方のみご記入ください。

2. 勤務形態 を入れてください

常勤

非常勤 (週 日)

不定期 (週の勤務曜日が決まっていないあるいは労働日数が一定でないこと)

視能訓練士として上記の通り勤務したことを証明いたします

住所

臨床に携わっている施設名

電話番号

代表者名

印

## VIII-3. 会員証用顔写真台紙

【認定視能訓練士用】

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

|        |  |
|--------|--|
| 事務局受付日 |  |
| 事務局入力日 |  |

## 写 真 貼 付 用 紙

会員証作成にあたり、顔写真が必要となります。  
 写真裏面に氏名をご記入の上、右貼付欄に貼付して下さい。  
 また、下記欄に会員番号と氏名をご記入下さい。  
 \*写真背景は無地（白・グレー・ブルー等）

会員番号 \_\_\_\_\_

会員氏名 \_\_\_\_\_

写真貼付欄  
 (背景無地)  
 (3.0×2.4 cm)

個人情報保護のため写真原本は年度末に破棄します。

VIII-4a. 学会等出席に伴う単位取得申告書

【認定視能訓練士用】

## 学会等出席に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は認定視能訓練士の更新の申請日から起算し、5年間に下記の学会等に出席しました。

報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

学会・講演会・シンポジウム（またはそれに準じるもの\*）・講習会の別と会の名称および開催日程、開催地の記載を開催日順に記載してください。

\*眼科学会主催等の視能訓練士対象のプログラム、シンポジウムなど。

例. 日本視能矯正学会 2007年11月3日～4日 東京

事務局欄

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

\* ネームカードのコピーまたは参加証明書（いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要）を添付してください。

\* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

VIII-4b. 学会等発表に伴う単位取得申告書

【認定視能訓練士用】

## 学会等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の学会等において発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

事務局欄

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

学会等の名称

タイトル

発表日

発表形式

発表者

- \* 学会別に記載してください。
- \* 発表形式は一般講演者、ポスター講演者、シンポジストあるいは講演会等の講師等と記載して抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- \* 発表者のすべてを記載し、申請者に下線を入れてください。3番までが単位として認められます。
- \* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページからダウンロードして使用してください。

VIII-4c. 論文等発表に伴う単位取得申告書

【認定視能訓練士用】

## 論文等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の論文を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 | 頁    | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-----|------|---------|-------|
|     | P ~P | 年       | 1.    |
|     |      |         | 2.    |
|     |      |         | 3.    |

事務局欄

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 | 頁    | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-----|------|---------|-------|
|     | P ~P | 年       | 1.    |
|     |      |         | 2.    |
|     |      |         | 3.    |

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 | 頁    | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-----|------|---------|-------|
|     | P ~P | 年       | 1.    |
|     |      |         | 2.    |
|     |      |         | 3.    |

- \* 申請者が共同執筆者の時は発表と同じ順位で3番までが単位として認められます。
- \* 掲載雑誌等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- \* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

VIII-4d. 著作等発表に伴う単位取得申告書

【認定視能訓練士用】

## 著作等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

私は、下記の書籍を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：

会員番号：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

事務局欄

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

\* 著者名とタイトルの記載がある部分（表紙等）のコピーを添付してください。

\* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

## VIII-5. 認定視能訓練士更新登録申請書

## 認定視能訓練士更新登録申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

更新登録申請日： 年 月 日

認定視能訓練士登録年月日： 年 月 日

認定視能訓練士登録番号：

会 員 番 号：

ふ り が な

氏 名：

免許取得年： 年

1. 勤 務 先：

2. 勤 務 先 住 所：

3. 勤 務 先 電 話 番 号：

4. 現 住 所：

5. 連 絡 先 電 話 番 号：

6. 勤 務 証 明 書 (更 新 用) 通

※ 認定視能訓練士認定日より所定の臨床経験(通算500日以上)があること。

7. 単 位 計 単 位

1) 学会等出席に伴う単位取得

①協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー 通

②その他の学会の単位：学会等出席に伴う単位取得申告書 通

2) 学会等発表に伴う単位取得申告書 通

3) 論文等発表に伴う単位取得申告書 通

4) 著作等発表に伴う単位取得申告書 通

8. 会員証用顔写真(縦3.0×横2.4 cm) 1枚

※ 背景無地、裏面に会員番号・氏名を記載し、VIII-3 会員証用顔写真台紙に貼付すること。

上記の1～7に必要事項を記入し、1)～4)の該当する箇所に○をしてください。

\* 書類送付先は原則として協会の会員登録の住所とします。

\* 住所変更された方は会員登録先住所の変更手続きを行ってください。

\* 単位取得申告書は日程順にまとめて記載してください。

\* 更新には1年間に最低0.5単位の取得かつ協会が主催する日本視能矯正学会または総会に伴う講習会(研修会)に2回以上参加し、単位に加えることが必要です。

VIII-6. 勤務証明書（更新用）

# 勤 務 証 明 書（更新用）

（年度はすべて西暦で記載してください。）

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

※ 会 員 番 号 :

ふ り が な

※ 氏 名 :

※ 認定視能訓練士認定日 : 年 月 日

注) 認定視能訓練士の更新には認定視能訓練士認定日より 500 日以上の臨床経験が必要です。

上記の※部分は申請者が記載し、以下は勤務先に記入を依頼し証明を受けて下さい。

複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成してください。

~~~~~ 勤務先記入欄 ~~~~~

1. 勤務期間 と日にちを入れてください

勤務している 自 年 月 日 ~ 現在に至る (合計 日)

勤務していた 自 年 月 日 至 年 月 日 (合計 日)

※合計日数は勤務形態が不定期の方のみご記入ください。

2. 勤務形態 を入れてください

常勤

非常勤 (週 日)

不定期 (週の勤務曜日が決まっていないあるいは労働日数が一定でないこと)

視能訓練士として上記の通り勤務したことを証明いたします

住所

臨床に携わっている施設名

電話番号

代表者名

印

[IX] 認定専任教員関連

]

IX-1. 専任教員認定制度登録申請書

【認定専任教員用】

専任教員認定制度登録申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

会 員 番 号 :

ふ り が な :

氏 名 :

免 許 取 得 年 : 年

免 許 登 録 番 号 : 号

1. 勤 務 先 :

2. 勤 務 先 住 所 :

3. 勤 務 先 電 話 番 号 :

4. 現 住 所 :

5. 連 絡 先 電 話 番 号 :

書類送付先は原則として協会の会員登録の住所してください。

住所変更がある場合は協会に変更届を提出してください。

事務局使用欄

生涯教育制度登録番号

受付年月日

年 月 日

IX-2. 認定専任教員認定申請書

【認定専任教員用】

認定専任教員認定申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

年 月 日

会 員 番 号 :

ふ り が な :

氏 名 :

免許取得年 : 年

基礎教育プログラム履修申請日 : 年 月 日

私は基礎教育プログラムⅠ、Ⅱ及び実習施設指導者等養成講習会を修了し、単位を取得し、認定専任教員の認定に必要な臨床及び教育経験を積みましたので、以下の書類を添付し認定証の交付を申請いたします。

- | | | |
|--------------------------|-----|-------|
| 1. 基礎教育プログラムⅡの修了証のコピー | 1 通 | } 注1) |
| 2. 実習施設指導者等養成講習会修了証コピー | 1 通 | |
| 3. 単位取得に関する証明書(所定の用紙に記入) | 1 通 | 注2) |

4. 養成所勤務証明書

※過去に5年(年間100日)以上の教育経験があり、かつ申請時に教員であること
(複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成すること)

注3)

5. 臨床勤務証明書

※通算で5年(年間100日)以上(複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成すること)

注4)

6. 会員証用顔写真(縦3.0×横2.4cm) 1枚

※背景無地(白・グレー・ブルー等)、裏面に会員番号・氏名を記載し、会員証用顔写真台紙に貼付すること

注1) 2014年度までに専任教員認定制度に登録申請している場合は、参加義務学会の修了が免除されるため、基礎教育プログラム履修申請日の記入、および1,2の書類の提出は不要です。

注2) 上記の3には必要事項を記入してください。

注3) 4、5について、大学院修士・博士課程もしくは大学設置審議会の教員組織審査に合格した者は3年(年間100日)以上とします。

IX-3. 視能訓練士養成所勤務証明書(申請用;教育経験)

【認定専任教員用】

視能訓練士養成所勤務証明書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

年 月 日

※ 会 員 番 号 :

※ ふ り が な :

※ 氏 名 :

注) 申請時には過去に5年(年間100日)以上の教育経験が必要です。
上記の※の部分申請者が記入し、以下は勤務先に記入を依頼し証明を受けてください。
複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成してください。

~~~~~ 勤務先記入欄 ~~~~~

1. 勤務期間 と日にちを入れてください
- 勤務している 自 年 月 日 ~ 現在に至る (合計 日)
- 勤務していた 自 年 月 日 至 年 月 日 (合計 日)
- ※合計日数は勤務形態が不定期の方のみご記入ください。

2. 勤務形態 を入れてください
- 常勤
- 非常勤 (週 日)
- 不定期 (週の勤務曜日が決まっていないあるいは労働日数が一定でないこと)

上記の通り証明いたします

住 所

教育に携わった施設名

電話番号

代表者名

印

IX-4. 臨床勤務証明書(申請用;臨床経験)

【認定専任教員用】

## 臨床勤務証明書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会  
指導者等養成委員会 委員長殿

年 月 日

※ 会 員 番 号 :

※ ふ り が な :

※ 氏 名 :

注) 申請時には過去に5年(年間100日)以上の臨床経験が必要です。

上記の※の部分申請者が記入し、以下は勤務先に記入を依頼し証明を受けてください。

複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成してください。

~~~~~ 勤務先記入欄 ~~~~~

1. 勤務期間 と日にちを入れてください

勤務している 自 年 月 日 ~ 現在に至る (合計 日)

勤務していた 自 年 月 日 至 年 月 日 (合計 日)

※合計日数は勤務形態が不定期の方のみご記入ください。

2. 勤務形態 を入れてください

常勤

非常勤 (週 日)

不定期 (週の勤務曜日が決まっていなあるいは労働日数が一定でないこと)

視能訓練士として上記の通り勤務したことを証明いたします

住 所

臨床に携わった施設名

電話番号

代表者名

印

IX-5a. 学会等出席に伴う単位取得申告書

【認定専任教員用】

学会等出席に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

私は、専任教員認定制度登録申請日から起算し5年間に下記の学会等に出席しました。
報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署 名 :

会員番号 :

学会・講演会・シンポジウム (またはそれに準じるもの*) ・講習会の別と会の名称および開催
日程、開催地を開催日順に記入してください。

*眼科学会主催等の視能訓練士対象のプログラム、シンポジウムなど

例. 日本視能矯正学会 2007年11月3日～4日 東京

事務局欄

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

* ネームカードのコピーまたは参加証明書 (いずれも学会名・参加者氏名・領収書の掲載が必要) を
添付してください。

* 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

IX-5b. 学会等発表に伴う単位取得申告書

【認定専任教員用】

学会等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

私は、下記の学会等において発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署 名 :

会員番号 :

事務局欄

学会等の名称:
タ イ ト ル:
発 表 日:
発 表 形 式:
発 表 者:

学会等の名称:
タ イ ト ル:
発 表 日:
発 表 形 式:
発 表 者:

学会等の名称:
タ イ ト ル:
発 表 日:
発 表 形 式:
発 表 者:

- * 学会別に記載
- * 発表形式は一般講演演者、ポスター講演演者、シンポジストあるいは講演会等の講師等と記載して、抄録集等にある発表者名とタイトルの記載がある部分のコピーを添付してください。
- * 発表者のすべてを記載し、申請者に下線を入れてください。3番までが単位として認められます。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページからダウンロードして使用してください。

IX-5c. 論文等発表に伴う単位取得申告書

【認定専任教員用】

論文等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

私は、下記の論文を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署名：
会員番号：

論文タイトル： 事務局欄

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 頁 | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-------|---------|----------------|
| P ~P | 年 | 1.
2.
3. |

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 頁 | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-------|---------|----------------|
| P ~P | 年 | 1.
2.
3. |

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 頁 | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-------|---------|----------------|
| P ~P | 年 | 1.
2.
3. |

論文タイトル：

掲載雑誌等の名称：

| 巻 号 頁 | 発行年(西暦) | 共同執筆者 |
|-------|---------|----------------|
| P ~P | 年 | 1.
2.
3. |

- * 申請者が共同執筆者の時は発表と同じ順位で3番までが単位として認められます。
- * 掲載雑誌等にある発表者名とタイトルの記載がある部分ページのコピーを添付してください。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

IX-5d. 著作等発表に伴う単位取得申告書

【認定専任教員用】

著作等発表に伴う単位取得申告書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

私は、下記の書籍を発表いたしましたので報告いたします。報告内容には一切虚偽のないことを誓約します。

年 月 日 署 名：

会員番号：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

事務局欄

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

タイトル：

著者名：

共同執筆の別：

発行年度：

発行所：

- * 著者名とタイトルの記載がある部分（表紙等）のコピーを添付してください。
- * 用紙が不足した場合はコピーまたは協会ホームページよりダウンロードして使用してください。

IX-6. 会員証用顔写真台紙

【認定専任教員用】

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

| | |
|--------|--|
| 事務局受付日 | |
| 事務局入力日 | |

写 真 貼 付 用 紙

会員証作成にあたり、顔写真が必要となります。
 写真裏面に氏名をご記入の上、右貼付欄に貼付して下さい。
 また、下記欄に会員番号と氏名をご記入下さい。
 *写真背景は無地（白・グレー・ブルー等）

会員番号 _____

氏 名 _____

写真貼付欄
 (背景無地)
 (3.0×2.4 cm)

個人情報保護のため写真原本は年度末に破棄します。

IX-7. 認定専任教員認定単位管理表

※この用紙で申請はできません 自己管理用として使用してください

認定専任教員 認定単位管理表

【専任教員認定制度登録申請日】 年 月 日

【学会等参加表】

| | 参加年月日 | 参加学会名 | 単位数 |
|--------|-------|---------------|-----|
| 参加義務学会 | | 基礎教育プログラムⅠ | - |
| 参加義務学会 | | 基礎教育プログラムⅡ | - |
| 参加義務学会 | | 実習施設指導者等養成講習会 | - |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2014年度までに専任教員認定制度に登録申請している場合は、参加義務学会の修了は免除される

IX-8. 認定専任教員認定更新登録申請書

【認定専任教員用】

認定専任教員認定更新登録申請書

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

更新登録申請日： 年 月 日

認定専任教員登録年月日： 年 月 日

認定専任教員登録番号：

会員番号：

ふりがな：

氏名：

1. 勤務先：

2. 勤務先住所：

3. 勤務先電話番号：

4. 現住所：

5. 連絡先電話番号：

6. 勤務証明書（更新用） 通

※前認定日より5年間に所定の教育経験（500日）以上があり、かつ申請時に教員である

7. 単位 計 単位

1) 学会等出席に伴う単位取得

①協会承認済の単位：会員ログインサイトの単位状況メモのコピー 通

②その他の学会の単位：学会等出席に伴う単位取得申告書 通

2) 学会等発表に伴う単位取得申告書

3) 論文等発表に伴う単位取得申告書 通

4) 著作等発表に伴う単位取得申告書 通

5) 日本視能矯正学会 年 (必須) } ※

6) 日本医学教育学会 年 (必須) }

7) 全国視能訓練士学校協会主催教員研修会 年 (必須) }

8. 会員証用顔写真（縦3.0×横2.4 cm） 1枚

※背景無地（白・グレー・ブルー等）裏面に会員番号・氏名を記載し、会員証用顔写真台紙に貼付してください。

上記の1～7には必要事項を、1)～4)の該当する箇所には○を記入

* 書類送付先は原則として協会の会員登録の住所とします。

* 住所変更がある場合は協会に変更届を提出すること。

* 単位取得申告書は日程順にまとめて記入してください。

* 2018年度までの更新申請は5)～7)の履修が免除されます。

IX-9. 視能訓練士養成所勤務証明書(更新用)

【認定専任教員用】

視能訓練士養成所勤務証明書(認定専任教員更新用)

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
指導者等養成委員会 委員長殿

年 月 日

※ 会 員 番 号 :

※ ふ り が な :

※ 氏 名 :

※ 認定専任教員認定日 : 年 月 日

注) 認定専任教員の更新には認定日より 500 日以上の教育経験が必要です。
上記※の部分は申請者が記載し、以下は勤務先に記入を依頼し証明を受けてください。
複数施設での経験を合算する場合は、施設ごとに証明書を作成してください。

~~~~~ 勤務先記入欄 ~~~~~

1. 勤務期間 と日にちを入れてください
- 勤務している 自 年 月 日 ~ 現在に至る (合計 日)
- 勤務していた 自 年 月 日 至 年 月 日 (合計 日)

※合計日数は勤務形態が不定期の方のみご記入ください。

2. 勤務形態 を入れてください
- 常勤
- 非常勤 (週 日)
- 不定期 (週の勤務曜日が決まっていないあるいは労働日数が一定でないこと)

上記の通り証明いたします

住所

教育に携わった施設名

電話番号

代表者名 印

## IX-10. 認定専任教員更新単位管理表

※この用紙で申請はできません 自己管理用として使用してください

## 認定専任教員 更新単位管理表

注意：更新するには毎年最低 0.5 単位の取得が必要です

【更新登録申請日】

年 月 日

【学会等参加表】

|        | 参加年月日 | 参加学会名         | 単位数 |
|--------|-------|---------------|-----|
| 参加義務学会 |       | 日本視能矯正学会      |     |
| 参加義務学会 |       | 日本医学教育学会      |     |
| 参加義務学会 |       | 全国学校協会主催教員研修会 |     |
| 1      |       |               |     |
| 2      |       |               |     |
| 3      |       |               |     |
| 4      |       |               |     |
| 5      |       |               |     |
| 6      |       |               |     |
| 7      |       |               |     |
| 8      |       |               |     |
| 9      |       |               |     |
| 10     |       |               |     |
|        |       |               |     |
|        |       |               |     |
|        |       |               |     |
|        |       |               |     |
|        |       |               |     |

※ 2018 年度までに更新申請する場合、参加義務学会の履修は免除されます。

[X] 生涯教育制度の休止および復帰関連



X-1. 休止届

## 休 止 届

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

年 月 日

会員番号

ふりがな

氏 名

免許取得年 年

該当する□に✓を入れてください。

私は  新人教育プログラム

基礎教育プログラム

認定視能訓練士の更新 を休止したく下記の書類を添えて申請いたします。

1. 海外留学、海外赴任 本人あるいは家族に同行

日本での所属施設長または留学先責任者の証明書

注) 証明書には留学者・赴任者の氏名、所属、記載日、留学の目的、留学先・赴任先、期間を記載のこと

(家族に同行する場合は辞令の写し、留学先への招へい証明書の写しなど)

2. 病気、介護

証明可能な書類の写し(診断書など)

3. 出産・育児

出産証明書、診断書、母子健康手帳(親と子の氏名記載欄)のいずれかの写し

4. その他(認定視能訓練士の更新の場合のみ)

1～4の該当する箇所に○をしてください。1～3は必要書類を休止届に添付してください。

\* 休止期限は申請日から1年間です。 ※休止期間は原則1年単位で休止した年数分延長となります。

\* 休止期限を延長する場合は休止期限の1か月前までに再度休止届を提出してください。

1～3の場合は最長で5年まで延長可能、4は1年のみ可能

提出されない場合は休止期限が過ぎましたら自動的に復帰となります。

\* 休止届提出後、1年未満に復帰する場合は復帰届を提出してください。但し、4のみ1年未満に復帰しても申請期間までは休止扱いとなります。

\* 4の場合は更新申請期間内に更新申請に必要な書類と一緒に休止届を提出してください。

次年は更新期間内に勤務を証明する書類を提出してください。

X-2. 復帰届

## 復 帰 届

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会 会長殿

申請日                   年    月    日  
復帰日                   年    月    日  
会員番号  
ふりがな  
氏    名  
免許取得年               年

該当する□に✓を入れてください。

私は、       年    月    日より

海外留学（本人・家族に同行）   病気、介護   出産・育児   のため  
新人教育プログラム   基礎教育プログラム   認定視能訓練士の更新   を休止して  
おりましたが、このたび復帰ができる状態となりましたので申請致します。

## X-3. 休止届

【認定専任教員用】

## 休 止 届

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会  
指導者等養成委員会 委員長殿

年 月 日

会 員 番 号

ふ り が な

氏 名

免許取得年 年

該当する□に✓を記入

私は  専任教員認定制度登録 認定専任教員の更新 を休止したく下記の書類を添えて申請いたします。

## 1. 海外留学 本人あるいは家族に同行

日本での所属施設長または留学先責任者の証明書

注) 証明書には留学者・赴任者の氏名、所属、記載日、留学の目的、留学先・赴任先、期間を記載のこと

(家族に同行する場合は辞令の写し、留学先への招へい証明書の写しなど)

## 2. 病気あるいは介護

証明可能な書類の写し(診断書など)

## 3. 出産・育児

出産証明書、診断書、母子健康手帳(親と子の氏名記載欄)のいずれかの写し

1～3の該当する箇所に○をして必要書類を添付すること

\* 休止期限は申請日から1年間です。 ※休止期間は原則1年単位で休止した年数分延長とする。

\* 休止期限を延長する場合は休止期限の1か月前までに再度休止届を提出してください。

提出されない場合は休止期限が過ぎましたら自動的に復帰となります。

\* 休止届提出後、1年未満に復帰する場合は復帰届を提出してください。

X-4. 復帰届

【認定専任教員用】

## 復 帰 届

(年度はすべて西暦で記載してください。)

公益社団法人 日本視能訓練士協会  
指導者等養成委員会 委員長殿

申請日 年 月 日

復帰日 年 月 日

会 員 番 号

ふりがな

氏 名

免許取得年 年

該当する□に✓を記入

私は、 年 月 日より

海外留学（本人・家族に同行） 病気、介護 出産・育児 のため

専任教員認定制度登録  認定専任教員の更新 を休止しておりましたが、このたび復帰  
ができる状態となりましたので申請致します。

## [XI] 生涯教育認定事業関連

XI-1. 生涯教育事業認定申請書

申請日 年 月 日

## 生涯教育事業認定申請書

下記の事業を公益社団法人 日本視能訓練士協会の生涯教育事業として  
認定の申請をいたします。

事業名（学会名・研究会名・勉強会名等）：

責任者（運営母体あるいは事務局等）：

主たる開催地（複数名可）：

事業開始年度と現在までの開催回数：

開催頻度： 回／年

対象者：

会員名簿の有無：

過去3年間の活動について（3年分の報告をしてください）

\*別紙に記載（プログラムまたは開催案内でも可）

**\*HP、JACO ニュース等に公表できる連絡先をご記入ください**

事業名：

代表者名：

所属名：

連絡先住所：

電話番号：

メールアドレス：

<過去3年間の活動内容>\*足りない時はコピーしてお使いください

| 開催日程           | 年 月 日    | 開催時間 | 時間 | 参加人数 | 名 |
|----------------|----------|------|----|------|---|
| 演 題            | 1.<br>2. |      |    |      |   |
| 講 師<br>(所属・資格) | 1.<br>2. |      |    |      |   |
| 内容要約           | 1.<br>2. |      |    |      |   |

| 開催日程           | 年 月 日    | 開催時間 | 時間 | 参加人数 | 名 |
|----------------|----------|------|----|------|---|
| 演 題            | 1.<br>2. |      |    |      |   |
| 講 師<br>(所属・資格) | 1.<br>2. |      |    |      |   |
| 内容要約           | 1.<br>2. |      |    |      |   |

| 開催日程           | 年 月 日    | 開催時間 | 時間 | 参加人数 | 名 |
|----------------|----------|------|----|------|---|
| 演 題            | 1.<br>2. |      |    |      |   |
| 講 師<br>(所属・資格) | 1.<br>2. |      |    |      |   |
| 内容要約           | 1.<br>2. |      |    |      |   |

XI-2. 生涯教育事業名称変更届

年 月 日

生涯教育事業名称変更届

公益社団法人 日本視能訓練士協会  
会長 殿

生涯教育事業認定第 号

事業名：

代表責任者：

年 月 日付で公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育事業として認定されました下記の事業の名称を 年 月 日付で変更いたしますので、承認いただきたく、よろしく願いいたします。なお、事業対象、事業内容等につきましては、現行の事業と大きな変更はないことを申し添えます。

現在の事業名（学会名・研究会名・勉強会名等）：

新しい事業名（学会名・研究会名・勉強会名等）：

名称変更の理由：



XI-3. 生涯教育事業認定取り下げ願い

年 月 日

生涯教育事業認定取り下げ願い

公益社団法人 日本視能訓練士協会  
会長 殿

生涯教育事業認定第 号  
事業名：  
代表責任者：

年 月 日付で公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育事業として認定されました下記の事業について生涯教育事業の認定の取り下げを申請したくお願い申し上げます。

事業名（学会名・研究会名・勉強会名等）：

取り下げ理由：

[XII] その他

**XII-1. 会員証再発行申請書**

## 会 員 証 再 発 行 申 請 書

公益社団法人 日本視能訓練士協会 総務部 御中

私は公益社団法人日本視能訓練士協会に入会した際に発行された会員証を紛失してしまいましたので、再発行をお願いいたします。

今後は、このようなことのないように注意いたします。

西暦            年        月        日

会員番号：

会員氏名：

**XII-2. 会員証（認定）再発行申請書**

**会 員 証 （ 認 定 ） 再 発 行 申 請 書**

公益社団法人 日本視能訓練士協会 総務部 御中

私は認定視能訓練士・認定専任教員に認定された際に発行された会員証を紛失してしまいましたので、再発行をお願いいたします。

今後は、このようなことのないように注意いたします。

西暦            年        月        日

会員番号：

会員氏名：

**XII-3. 認定バッジ購入申請書**

**認定視能訓練士・認定専任教員バッジ購入申請書**

公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育部 御中

私は認定視能訓練士・認定専任教員に認定された際に授与されたバッジを紛失してしまいましたので、購入したいと存じます。

今後は、このようなことのないように注意いたします。

西暦            年        月        日

会員番号：

会員氏名：

**XII-4. 認定証再発行申請書**

**認定視能訓練士・認定専任教員 認定証再発行申請書**

公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育部 御中

私は認定視能訓練士・認定専任教員に認定された際に授与された認定証を紛失してしまいましたので、再発行をお願いいたします。

今後は、このようなことのないように注意いたします。

西暦            年        月        日

会員番号：

会員氏名：

発行日：2018年12月1日

編集：公益社団法人 日本視能訓練士協会 生涯教育部

発行：公益社団法人 日本視能訓練士協会

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル 2階

03-5209-5251

HP：<http://www.jaco.or.jp>

2006年制定

2007年改訂

2009年改訂

2011年改訂

2013年改訂

2016年改訂

2017年改訂

2018年改訂

覚書

氏名：

連絡先電話番号：